

外来化学療法センター オープン!

病院新聞

さくら

春号
4月発行

春日井市民病院



外来化学療法センター全景



左から院長・市長・議長による
テープカット

施設概要

診察室 2室
薬品管理室 1室
処置室 1室
電動式リクライニングチェア
12台
ベッド 4台

近年、がんの化学療法は急速に発展してきました。従来では、入院治療が化学療法の中心となっていました。新規の抗腫瘍剤や支持療法の発展により、外来治療が可能となりました。また、安全に治療を受けることができることも、快適な環境での治療が望まれるようになってきました。

そこで市民病院では、安全性や快適さを備えた治療が受けられるように、3月1日(木)から専任の医師や看護師・薬剤師を配置した外来化学療法センターを開設しました。ここでは、入院することなく、自宅での生活や仕事を続けながら、外来による通院で化学療法を安全に、かつ安心して受けることができます。

当初は消化器疾患や乳腺疾患などの治療を中心に、将来的には全科の治療を行なう予定です。

充実した外来治療をゆったりと

外来化学療法センターの受診対象者は、当院各診療科で治療中の方としています。他院にかかられている方は、各診療科（外科、消化器科、産婦人科など）あての紹介状（かかりつけの診療所や病院の先生が書いたもの）をご持参ください。治療の対象は、消化器がん（胃、食道、大腸、肝臓、胆道、すい臓）、乳がんです。将来的には、肺がん、子宮・卵巣がん、頭頸部がん、腎臓・膀胱・前立腺がんなどを対象にする予定です。

各診療科の医師が診察の上、病歴や検査などの結果により最適な治療法（抗腫瘍剤メニュー）を選択し、化学療法センター医師と連携して外来化学療法を行ないます。外来通院が可能な地域にお住まいの方で、外来化学療法センターでの治療を希望される方は、かかりつけの診療所や病院の先生にご相談ください。

センター受付

専用の窓口で受け付けています。



診察室

専任の医師が診療にあたります。



薬品管理室

薬剤師が、一人ひとりの化学療法における治療計画や投与量を確認し、抗腫瘍剤を調製します。

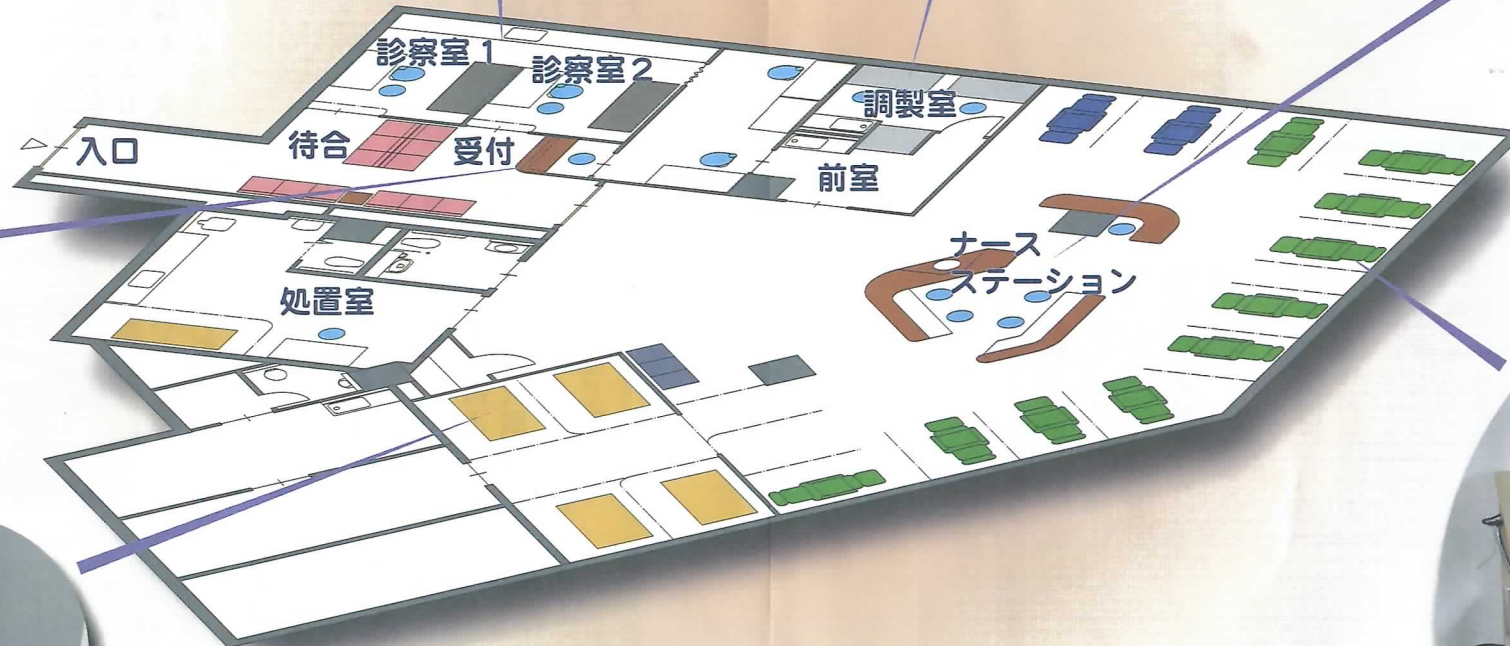
ナースステーション

外来化学療法センターの中央にあり、すべてのチェアを見渡せるようになっています。また、別室のベッドは、モニターを通して治療の状態を確認できるようになっています。



電動式リクライニングチェア

テレビを見ながら、長時間リラックスして点滴治療を受けることができます。また、緊急事にナースコールを設置しています。



外来化学療法センター 見取り図

電動ベッド

電動式リクライニングチェアと同じく、テレビを見ながら、点滴治療を受けることができます。



輸液ポンプ

抗腫瘍剤を点滴投与します。





病院ニュース
もしも！に備え真剣に臨む
市民病院防災訓練

3月17日(土)、市民病院の正面玄関・中央ホール等で防災訓練が行われ、市民病院職員のほか、春日井消防職員、春日井看護学校生徒ら129人が参加しました。訓練は、東海地震が発生したという想定で、負傷した被災者を重度に傷めて選別するトリアージ訓練と、火災の初期消火や避難等の消防訓練の2本立てで行われました。訓練開始の放送が流れると、けがのメイクをした被災者役が、正面玄関へ次々と搬送されてきました。待機していたトリアージ班等の職員は、役割に応じて症状の確認から重傷度の選別、搬送、応急処置までを、真剣な面持ちで取り組んでいました。続いて消防訓練では、看護師らによる放水や避難誘導、消火器を使った消火訓練などが行われ、参加者は、いざというときに冷静に対処することの大切さを感じ取っていました。



皆様のご意見ご要望にお答えします

ご意見
薬の待ち時間

院内の薬のできる時間をもっと早くならないでしょうか。

市民病院から

市民病院における、院内処方せんの発行にともなう薬の待ち時間は、現在40分ほど要しています。また、薬剤業務が外来処方調剤だけでなく、薬剤管理指導業務をはじめ、院内で薬品が安全かつ適正に使用されるよう管理・確認をする作業にも重きを置くようになってきました。こうしたことから、当院では院外処方方を推進しています。しかし、受診される方にはそれぞれの理由があり、院外処方より院内処方を希望される方も見えます。待ち時間については今後も考えていきますので、ご理解をお願いいたします。